

2013年3月18日

企画委員会

第二回「私の主張」の会が開催されましたので概要をご報告します。  
当日は、2名の方から発表があり参加者と活発な討議が行なわれました。  
来年度も引き続き本活動を行ないますので、気軽に会員の皆様から主張の発表をして頂きたいと思います。同時に会員相互の交流の場から新しいアイデアが生まれ情報システム学基礎作りのヒントになると考えております。

### 第二回「私の主張」の会概要

1. 開催日時 2013年3月7日(木) 18:30~20:30
2. 開催場所 専修大学神田キャンパス7号館774教室 参加者 11名
3. 発表者  
第一部 甲斐荘 正晃氏 (株)KAINOSHO 代表 学会理事  
第二部 渋谷 照夫氏 学会評議員
4. 発表概要(発表順,討議省略)  
第一部(18:30~19:00 発表,その後に20分討議)概要報告(詳細は発表資料をご覧ください)  
テーマ:企業内のIT人材は社内コンサルタントを目指せ  
(1) 情報システムの利用目的が変化しこれに対応し情報システム部門の責務が拡大している。このため、現在、求められる情報システム部門人材像は大きく変化している。  
主張1:社内IT人材はコンピュータシステム利用の有無に関わらず幅広く企業の情報活動に関与すべきである。  
主張2:社内IT人材は、企業の経営戦略を最大の使命と考えなければならない。  
(2) 上記主張を実現する情報システム部門に求められる能力は、  
企業・組織のビジネスモデル理解力等の従来、情報システム部門には求められていない能力でありこれを実現するために下記を主張したい。  
主張3:経営戦略の実現のために経営陣をサポートし社内をリードできる社内コンサルタントに情報システム部門人材を育成する必要がある。  
第二部(19:20~19:55 発表,その後に25分討議)概要報告(詳細は発表資料をご覧ください)  
テーマ:組込みソフトウェア開発現場の改革を目指して  
2012年7月に社会への提言「岐路に立つ組込みソフトウェア開発現場」が公表されている。この提言の主旨に沿い企業の業務系システム構築向け開発プロセス,プロジェクト管理・人材育成のノウハウを組み込み系システム開発現場へ実際に適用した事例を紹介する。エンタープライズ系と同様に組込みシステム関係団体もあるが、その活動は技術のレベルアップやその共有に注力していてプロジェクトマネジメントに関する活動は少ない。論文発表についても要素技術に関するテーマが多くエンタープライズシ

システム開発の研究現状から言えば、システムの視点での研究、実践アプローチ開拓がやや不足していると思える。組込みシステム関係団体への参加企業は、ベンダーに加えユーザ企業が最近、増加している。

今回対象としたシステムを開発している企業の事業部門は、POS業務端末システム開発部門で品質問題、納期遅延等の問題が生じ原価が増大し損益が悪化していた。

従って、組込みシステム開発部門の体質を根本的に改善・改革する必要があった。

このため従来、企業系情報システム開発で培ったノウハウを応用し属人的なやり方を排除し開発体質指標を大幅に改善し社員満足度も向上させ同時に事業部門損益が改善できた。今回の組込みシステム開発現場を改善した経験から、

「業務系システムでプロジェクト管理、開発プロセス、部品化、セキュリティ等について培った資産を組込みソフト開発企業へ展開する」を私の主張にしたい。

また、今回の経験から社会への提言に、「学習する組織、チーム作り」及び「組込みソフト開発部門の地位向上」を追加することを提言したい。

以上

(記録：伊藤重隆)